



レビー小体型認知症サポートネットワーク福岡 第 19 回研修会・交流会



残暑厳しい2020年9月3日（木）に天神・BiVi福岡で、協力医 合馬慎二先生の司会のもと、DLBSN福岡の第19回研修会・交流会を開催しました。新型コロナウイルスの感染対策として、参加者の皆様には検温と入室時の手指消毒、マスクを着用して頂きご参加いただきました。今回も特別講演は行わず、時間を約1時間半と短縮して行いました。13名の方の参加があり、このうち初参加が6名、ご夫婦での参加が2組でした。

レクチャー「レビー小体病認知症の診断とコロナ対策②」

顧問医である坪井先生から、レビー小体型認知症の診断についてレクチャーがありました。その後、コロナ期の過ごし方の説明が行われました。まず、基本的感染対策として、マスクの着用、人混みを避ける、手洗い・うがいをすること、レビー小体病の人が特別危険はわけではないが、高齢者はコロナ感染が重症化するので予防策をより徹底すること、ストレスは症状を悪化させるのでストレスを最小限に抑えること、朝、デイサービスがなくてもきっちり起きて内服を確実に行うこと、午前中は日光浴と散歩を兼ねて行うこと、のんびりするときは良姿勢をとって休憩すること、テレビは短めに、特にコロナに関するニュースは、同じものが何回も流れるので1日1回で十分だとお話しされました。皆さん、熱心にメモをとって聞かれました。

グループワーク

顧問医、協力医を囲み、ソーシャルディスタンスをとって円になって、お一人ずつ現状と思いについてお話しして頂きました。いくつか紹介します。

- ・姉がレビー小体型認知症であるが、絶対に怒らないようにしている。お出かけ好きなので一緒に外出したり、小旅行に行ったりしていたら回復してきたようだ。最近は一人で買い物にも行けるようになった。

・認知症の妻と一緒に歌う様子を動画にとっている。家族がどうあるべきか勉強させて頂きたいと思っている。

・施設に入所している母親に久しぶりに会ったら、痩せていた。サプリについて検討している。

→サプリは栄養素なので、まず普通の食事で栄養をとることが大事である。

最後に、血圧管理、栄養・運動など基本をしっかり保ちながら生活しましょうというお話がされました。

次回も新型コロナウイルス感染の状況によっては延期・中止や一部会の内容が変更になる可能性もありますのでご了承ください。また、ご参加の際には、マスクの着用、自宅での体温測定をお願い致します。

次回の研修会・交流会は、2020年12月10日（木）18時～

BiVi 福岡 6階会議室です。



報告者：DLBSN 福岡 副代表坂梨左織

